

商品のネーミングには 世界の人々が抱く 日本のイメージが現れる

イギリスではアリ退治に「ニッポン」を使う!?

「ニッポン」という薬が、イギリスでは売られている。「ジャパン」ではない。「ニッポン」である。容器には、NIPPON[®]と示されている。

といっても、薬局では見かけない。お目にかかれるのは、もっぱら園芸店である。庭いじりが好きなイギリス人には、よく知られている。ものは、アリの駆除剤である。庭のアリを退治したい人は、庭に「ニッポン」をふきつける。そうすると、アリはしばらく姿を見せなくなるらしい。

イギリス人が、「ニッポン」の意味を知っているかどうかは、人による。日本だという知識のある人もいれば、気づかない人もいる。た

だ、その言葉が日本という国名に由来することは、疑えないだろう。

サッカーの国際大会では、「ニッポン!」というかけ声を、よく耳にする。それが、日本人のサポーターたちによる、常套的な声援となっている。

あれをイギリス人たちは、どう受け取っているのだろう。日本対イングランド戦でひびく「ニッポン」のコールに、どんな印象をいだくのか。「アリよ死ね、アリよ死ね……」というふうにひびいているのかもしれない。

この話に不快感をいだく日本人も、いくらかはおられようか。どうして、われわれの名が、虫よけの銘柄につかわれるのか。失礼な。と。だが、私はイギリスで「ニッポン」を見つけ、愉快になった。



英Vitax社のスプレー式アリ駆除剤「NIPPON」。このほか「NIPPON」のブランド名で、ネズミやハチ専用の駆除剤なども出ている

おぼえておられようか。「日本人は、アリのようだ」。フランスのクレソン首相が、そう公の場で口にし、物議をかもしたことを。1991年のことである。

その直後に私はイギリスで、「ニッポン」と出会っている。フランスでは日本がアリとなり、イギリスではアリ退治の薬となる。このめぐりあわせに、思わずわらってしまったのである。

しばらくしてから、オーストリアに「ニッポン」という菓子があることも、知った。ラスク状のベイスにチョコレートをまぶしたものが、そう名づけられている。アリではなく、キリギリスの餌だと、こちらにもにんまりさせられた。まあ、菓子の「ニッポン」に、それほど深い意味合いはあるまい。ドイツに「タタミ」という名のサングルがある。カナダのビクトリ



ブラジルにある「コペンハーゲン」はチョコレート会社でおしゃれなイメージ
 写真提供：深沢正雪（72ページ上も）

ア市では、「カブキ」の名で人力車がはしっている。インドでは、「スモウ」とよばれる国産の四輪駆動車がはしっていた……。そういった事例のひとつではある。しかし、イギリスの「ニッポン」には、もう少し根深い何かを感じる。じつさい、私の知っている西欧人は、その名がよくわかると、たいてい言っていた。アリ退治に

「ニッポン」。なるほど、さもありなん。日本イメージの典型例です。ねと、そう私に伝えてくれた人は、少なくない。

こちらは、少し考えてみる。値打ちもありそう。

リオデジャネイロでは「キョート」が害虫駆除をする

私は、京都市に生まれた。今もその近郊でくらし、京都の職場へ

かよっている。外国では、京都からきましたと自己紹介をすることも、よくある。

これが、ブラジルのリオデジャネイロでは、しばしばわらわれた。あとで気づいたのだが、リオには

「キョート」という会社がある。ゴキブリやシロアリをはじめとする害虫を退治する。そんな業者が、彼の地では「キョート」を名のっている。京都からやってきたという私の自己紹介がわらいをさそうゆえである。

リオの市中では、「キョート」の車をよく見かける。白いライトバンで、ゴキブリの絵などが、車体へ描きこまれている。虫のむらがる絵柄のなかに、K I O T O のロゴマークがしるしてある。そんな車と、しばしば市中で出くわす。イギリスの「ニッポン」ではわ

らえた私も、リオの「キョート」には、やや気分を害した。私の愛郷心は国家や民族より、地域に根ざしているということか。

ブラジルには、「コペンハーゲン」という会社がある。チョコレートメーカーである。「アムス

テルダム」という、宝石販売のチェーン店もある。コペンハーゲンがチョコレートで、アムステルダムが宝石。なのに、どうして京都はゴキブリ駆除なんだと、私は反感をつのらせた。

東京や大阪の方々は、おもしろく読まれただろうか。しかし、よろこんではいられない。害虫退治の会社は、サンパウロにもある。そして、サンパウロでは、「トキョー」と「オーサカ」が、ゴキブリをやっつける。台所の虫害にこまった人は、「トキョー」や「オーサカ」に、駆除をたのむのだ。

京都だけに、そういう仕事が期待されているわけではない。東京や大阪もたよりにされている。日本そのものに、その象徴的な役割はたくされているのである。

私はリオの露店で、「日本練薬（モッサ・ジャポネーザ）」という売薬を見つけた。手にとると、容器には、ゴキブリのひっくりかえっている図がしめされている。この薬がどういう効用をもっているのかは、一目でのみこめよう。

www.anjosredesdeprotecao.com.br
 • Não cobramos perda de rede
 2977-6976 / 2976-2200

VAZAMENTOS, DEDETIZAÇÃO E DESRATIZAÇÃO

Monte Fuji
 Dedetizadora e Desentupidora
CUPINS
 NOSSO FOCO É O CONTROLE DE PRAGAS E ENTUPIMENTOS
 Formigas - Pulgões - Ratos - Baratas - Formigas
 Traças - Escorpiões - Aranhas - Percevejos
 (11) 3609-5222 / 3591-0353
 www.montefujidesentupidora.com.br

CUPINS E INSETOS ?
 Líquid e comprovado: produtos ecológicos e profissionais altamente treinados.
 Temos a solução com tecnologia de última geração.
NAGASAKI
 NAGASAKI
 SERVIÇOS PROFissionais
 (11) 5666-1444
 www.nagasaki.com.br

IBARAKI
 DESENTUPIDORA E DEDETIZADORA
 Construindo uma empresa, formando uma família.
SUPINS
 RATOS E INSETOS
 5669-4000
 Atendimento imediato
 www.ibaraki.com.br

INSETOS EM GERAL!!!
 PAGAMENTO FACILITADO!!!
CUPIM ?!?
 ANARA DA EXIJA
 11 5660-7771
 PRODUTOS SEM CHEIRO
 CAPITAL, INTERIOR E LITORAL
 35503096-512-400111-1-1-8

OSAKA
 Controle de Pragas e Desentupimento
 Ao Lado da Vida, cuidamos de sua propriedade.
DESENTUPIMENTO
 CONTROLE DE PRAGAS
 CAPITAL, LITORAL E INTERIOR
 11 5668-4000
 0800-109 800
 www.osaka.com.br

ataqTerms
 DESCUMPRIDORA
 Não precisa desocupar o local
 Produto sem cheiro
 PAGAMENTO FACILITADO
 DESC. P/ APOSENTADOS
 5666-3909
 ataqterms.com.br

Serviço ao leitor
 Dicas para fazer um bom negócio
 o local onde a empresa está instalada;
 de adiantar qualquer valor, verifique
 o nos serviços de

新聞「オ・エスタード・デ・サンパウロ」に掲載された害虫駆除の広告。店の名前として、「Monte Fuji」「NAGASAKI」「IBARAKI」「OSAKA」など、日本の地名が乱舞する

このころがしが、ブラジル社会での日本イメージを、こしらえたのだろうか。手堅い民族だが、華はない。みんなのいやがること

● しょういち うえの
 京都大学大学院工学研究科建築学修士課程修了。2002年より現職。1986年、「つくられた桂離宮」でサントリー学芸賞、「南蛮幻想」で芸術選奨文部大臣賞を受賞。近著に「伊勢神宮 魅惑の日本建築」「日本に古代はあったのか」など



今後の動向を、見守りたいと思っている。

堅実で地味な日本のイメージはこれから変わっていくのか
 ブラジルは、日系移民の多い国である。とりわけ、サンパウロとそのまわりでは、おおぜいの日系人がくらしている。
 社会的に活躍している人も、少なくない。会社の経営者、医師、法律家、大学人なども、よく見かける。アジアからの移民としては、社会の上層へくいこめたほうだと、みなせよう。
 だが、芸能界で活躍する日系人は、まずいない。テレビのドラマで、主役を演じる日系人は絶無だと思ふ。いや、脇役でさえ、ほと

んど見かけない。まあ、このごろは、スシ屋の店員役としてキャスティングされるぐらいなら、ありうるが。
 ニュース番組の司会者、コメンテーターとしても、日系人は現れない。テレビのはなやかな舞台は、おおもむヨーロッパ系の人々にゆだねられている。
 あと、先住民のインディオや混血のムラッタも、しばしば画面で目にする。いわゆる少数民族にたいする配慮で、一定程度の登場が義務づけられているらしい。ただ、成功者である日系人に、そういう心くばりは払われないのだという。

リオ在住のある日系人から、印

象深い話を聞いた。若いころ、日本へ留学して、おどろいたというのである。テレビの画面が、ほとんど日本人でしめられていることに。テレビに出るのはヨーロッパ系だと思ひこんでいた彼は、それで感動したらしい。自分たちの民族も、テレビにうつりうるのだ、と。

もひきうけるが、印象は地味である。そんな日本像を定着させた。その延長線上にかびあがったのではないか。
 いや、それはブラジルだけに、とどまらない。イギリスの「ニッポン」にも、同じような日本像は、とどいている可能性がある。
 とはいえ、最近ではチャーミングな日本という構図も、アニメなどで海外へひろまった。「クール・ジャパン」という声も、聞こえてくる。いずれは、これまでの日本像をささえたしくみも、こわされていくかもしれない。